

## 6 花巻市学力向上アクションプラン

### 1 趣旨・経緯

花巻市における「学力の向上」は喫緊の課題であり、諸調査の結果で明らかになった課題の解決に向け、学校だけではなく家庭・地域と一体となった取組を行うことが必要と考え、平成 27 年 2 月に「花巻市学力向上アクションプラン」を策定。

### 2 諸調査から見える花巻市の課題

- (1) 各教科の平均正答率について、小学校は全国・県平均正答率を上回る項目が多いが、中学校は下回っている。
- (2) 諸調査における目標設定と教員相互の授業参観の実施が十分ではない。
- (3) 授業内容が分かる割合については、学年が上がるにつれて低くなる。
- (4) 家庭学習については、平日に 1 時間以上勉強している割合が小・中学校ともに、県より低い。

### 3 平成 27 年度から 30 年度までの目標

全国学力・学習状況調査及び県学習定着度状況調査において、平均正答率以上を目指します。特に、中学校の学力を向上させます。

### 4 目標達成のための方策

#### (1) 各校の組織的な取組

【目標】 目標を設定し取り組んだ学校の割合（出典 県学調）

(H26 小学校 58% 中学校 28% → H30 小中学校ともに 100%)

【具体的な取組】 学校・家庭・地域 PDCA サイクルによる組織的取組（各校アクションプラン）

学校・市教委 組織的な授業研究への支援

市教委 各種調査の分析 授業サポーターの配置（小 8・中 3）

#### (2) 授業改善の推進

【目標】 授業がわかる子供の割合（出典 県学調）

(H26 小学校 93% 中学校 74% → H30 小学校 95% 中学校 82%)

【具体的な取組】 学校 わかる授業・子供が主体となる授業実践の推進

学校・市教委 自己研修の推進 授業実践公開研究会の充実

市教委 中学校の授業改善のモデル提示 指導主事学校訪問 ふくろう講座

#### (3) 家庭学習の充実

【目標】 家庭学習に取り組む児童生徒の割合（1 時間以上・30 分未満）（出典 県学調）

（1 時間以上 H26 小 53% 中 54% → H30 小 60% 中 75%）

（30 分未満 H26 小 6% 中 15% → H30 小 5% 中 5%）

【具体的な取組】 学校 授業と連動した家庭学習の取組

学校・家庭・地域・市教委 家庭・地域と連携した家庭学習の取組

小中連携による家庭学習のやり方の共有

市教委 スポーツ少年団や部活動の在り方の研究

〈担当 教育部 小中学校課 45-1311 内線 338〉